

車体 解体マニュアル

検査車・測定車

東京特殊車体株式会社

TEL:0426-44-3517(代)

作成日 2005.12.20

はじめに

本マニュアルは、検査車・測定車を解体する際の留意点、解体手順を記載したものです。

車両を解体する際の留意点

1. 弊社の車両は鉄製骨格、鋼板等を使用しバス型に架装してあります。
各部は主に溶接結合となっていますので、解体作業は切断機等を使用し行って下さい。
2. 解体した部品は、鉄・アルミ・ステンレス・樹脂(FRP・PP等)・ゴム類・木材・配線材等材質別に分類し、適正な処理を行って下さい。
3. 取り外したビス・ボルト類は、まとめて適正な処理を行って下さい。

！注意

ビス・ボルト類は、表面処理材に六価クロムが含有されている場合があります。

4. 本マニュアルは、当社で架装した車体の解体手順について記述したものです。
架装ベース車のシャシ関係・架装部品については、ボデーより取り外した後各シャシメーカー・部品メーカー等の指示により、解体・廃棄を行って下さい。

主なシャシー部品

・シャシフレーム	・緩衝装置	・バッテリー	・原動機
・運転装置	・灯火関係部品	・動力伝達装置	・キャブ部品
・ECU	・走行装置	・運転席	・その他シャシ電装部品
・制動装置	・インストルメントパネル	・助手席	・油脂関係

主な架装部品

品目	メーカー	品目	メーカー
・検査測定機器 ・発動発電機 ・バスクーラー ・ルームエアコン ・ヒーター ・安定ジャッキ ・天井換気扇	本体もしくは取扱書に記載してあります	・蛍光灯 ・充電器 ・客席(2人掛け席等) ・仕切扉開閉器 ・扇風機	本体もしくは取扱書に記載してあります

検査車・測定車の解体手順

車両解体の際には、まず以下の物の抜き取りを行い、それぞれ決められた方法での処理を実施して下さい。

- ・エンジンオイル
- ・ブレーキフルード
- ・冷却水
- ・クーラー冷媒(純正クーラー・バスクーラー・ルームエアコン)

1. 車両に取付けられている機器、部品の取り外し

- ①前項リストに記載ある機器・部品関係を取り外して下さい。(主にビス・ボルト固定)
取り外し後の廃棄方法などにつきましては、各部品のメーカーにお問い合わせ下さい。
- ②クーラーを取り外す際は、事前に冷媒の抜き取り作業を実施して下さい。
- ③ヒーターを取り外す際は、事前に冷却水の抜き取り作業を実施して下さい。
- ④油圧ジャッキを取り外す際は、事前にオイルの抜き取り作業を実施して下さい。

2. 外装部品の取り外し

- ①フェンダートリム・モール等の取り外し(挟み込み・接着固定)
- ②ワイパー・サイドミラーの取り外し(ビス・ボルト固定)
- ③天幕・天幕カバー・手スリの取り外し(ボルト・リベット固定)
- ④前後バンパーの取り外し(ボルト固定)
FRP製と鋼板製のバンパーがあります。
- ⑤フロントリッドの取り外し(ビス固定)
樹脂と鉄に分離して下さい。
- ⑥ヘッドランプ・テールランプ等の灯火類の取り外し(ビス固定)
- ⑦フロントガラス・リアガラス・側面固定窓・サッシの取り外し
サッシは枠とガラスに分離して下さい
- ⑧スカートリッドの取り外し(ボルト固定)
ロックの無い部分は、スカート下端裏側でボルト固定されています。
- ⑨運転席ドア・助手席ドア・後面扉・側面扉の取り外し(ボルト固定)
本体とガラス・ゴム等は素材別で分離して下さい。
- ⑩コードリール・燃料タンク・乗降口補助ステップ等、床下架装物の取り外し(ビス・ボルト固定)
燃料タンク内部には、軽油・ガソリンが残存していますので十分注意して扱って下さい。

3. 内装部品及び内板のバラシ

- ①座席・ベンチシート・跳ね上げ席の取り外し(ビス固定)
本体とベルト・クッションは素材別で分離
- ②カーペット・カーテン等室内装飾品取り外し(ホック・マジックテープ止め)
- ③木製家具の取り外し(ビス・接着固定)
家具はビスを外した後バール等を用いて解体
- ④間仕切窓ガラスの取り外し
間仕切窓ガラスは、接着にて取り付けされています。
- ⑤間仕切扉の取り外し(ヒンジ部ボルト固定)
扉内部には発砲スチロールが挿入されています。本体と分離して処理して下さい。
- ⑥配電盤・スイッチボックス・室内灯・コンセント等室内電装部品取り外し(ビス固定)
電装部品には、水銀等環境負荷物質が使用されている場合があります。
- ⑦天井内板の取り外し(ビス・接着固定)
鋼板又は合板が使用されています。ビス固定されているモールを取り外しバール等で解体して下さい。
- ⑧側内板・間仕切内板の取り外し
鋼板又は合板が使用されています。
鋼板仕上げの場合(ビス又はスポット溶接及びシール材により取り付け)
スポット溶接部は打点を探し、8mm程度のキリで穴を開け剥がします。
※打点が見つげにくい場合は、鉄板の周囲の塗装をサンダーで剥がし確認して下さい。
スポット溶接を剥した後、サンダー・バール等で解体して下さい。
合板仕上げの場合(シール材等により取り付け)
モール等を取り外し、バール等で解体して下さい。
- ⑨内外板間・間仕切骨格内のグラスウール・発砲スチロール取り外し
- ⑩クーラーダクト取り外し
ダクトはビス及びスポット溶接にて取り付けされています。サンダー・バール等で解体して下さい。
ダクト内部にはウレタンシートが貼ってあります。分離して処理して下さい。
- ⑪クーラー冷媒配管、ドレンホース取り外し(ビス固定)
- ⑫クーラーダクト部内板取り外し(ビス又は溶接等で固定)
- ⑬内外板間、間仕切骨格内の配線材を抜き取り

⑭間仕切骨格の解体(ビス又は溶接にて固定)

サンダー・ハンマー等で周囲の溶接部を外し、切断機等で解体して下さい。

⑮エンジン・ミッション点検蓋取り外し(ボルト固定)

上面の塩ビ材・ベニヤ板・断熱材・受け皿に分解し処理して下さい。

⑯床ベニヤ剥がし(ビス・接着固定)

周囲の縁材を取り外し上面に接着されている塩ビ材を剥がした後、ビスを外しバール等で剥がして下さい。

4. ボデー外板のバラシ

①天井外板を取り外し(リベット及びスポット溶接等にて固定)

②側外板を取り外し(溶接及びシール材等で車体の骨格材に固定)

1. スポット溶接を剥します。剥し方は内板同様です。
2. 溶接部はサンダーで削り、取り外します。
3. シール接着部は車内側からカッター等で切りはなします。
4. バール等で外板材を剥がします。

5. 車体骨格の解体

本車体の骨格は、前構体・後構体・天井構体・側面左右構体・床構体と各部パネル方式にて構成されています。

上記各構体の接合は、溶接で施工されています。

解体の際は、パネル間の接合部の取り外し、もしくは付近の骨格を切断することで、パネル単位でのバラシを行った後、廃棄可能な状態に裁断して下さい。

各パネルを取り外す際は必ずクレーン等を使用し、吊り上げた状態で行って下さい。

(クレーン吊り上げ能力:500Kg以上)